

2022年度 第3回 10月

東大本番レベル模試

日本史・採点基準

◆論述問題・共通の基準◆

1. 採点基準においては加点要素を、**3点**のものはアミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、< >内に示した事項に内容が反していないかを確認する）。例外的対応などについては※で示してある。
2. 加点要素に直接関係している**歴史用語等**（太字で表示）について、①誤字を含む表記、②漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記、③漢数字を含む語句への算用数字をもちいた表記は、当該加点要素の配点から漢字1文字分につき**1点減点**とする。同一語句・文字がくりかえし不適正な形で表記されている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。④脱字、当て字のある**歴史用語等**の表記は、**非加点**とする。
3. 制限字数を超過した答案については、模試という性質を考慮して対処する。
4. 加点要素の合計が配点を超えているが、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。
配点を上回る加点要素の設定は、東大本試・日本史で求められる、文章等で提示された具体的事象の抽象化や抽象的表現の具体化に応じた答案を、より適正に評価することを意図した措置である。

◆論述問題・採点基準上の記号◆

1. ◎ …前提条件 (例) 「◎**アメリカ**」
「**a 第一次世界大戦**に参戦した」
→答案例「イギリスは**第一次世界大戦**に参戦した」
◎の内容と整合性がないため**非加点**
※◎の内容は答案上に必ずしも明示されていなくても良い
2. < > …前提条件 (例) 「**a** <首相の>**浜口雄幸**」
→答案例「**浜口雄幸**蔵相」
< >の内容と整合性がないため**非加点**
※< >の内容は答案上に必ずしも明示されていなくても良い
3. [] …別表現 (例) 「**a 益田 [天草四郎] 時貞**」 → 「**益田時貞**」と「**天草四郎時貞**」
4. () …省略可能箇所 (例) 「**a 遙任(国司)**」 → 「**遙任**」と「**遙任国司**」

第1問 国司と郡司を中心とする地方のあり方の変化

◆加点要素の合計点25点→15点満点◆

A

◆加点要素の合計点13点→8点満点◆

◎郡司

- a もと国造から選ばれた …… 2点以内
- b 国学で学んだ者が任用された …… 1点以内
- c 試験に合格した者が任用された …… 1点以内
- d 終身官だった …… 2点以内
- e 世襲的性格を持った …… 1点以内
- f 官位相当制の対象外とされた …… 2点以内
- g 在地の首長だった …… 2点以内
- h 律令制を支える官人だった …… 2点以内

B

◆加点要素の合計点12点→7点満点◆

◎従来の地方統治の体制

- a <租税納入・徴収に関して>国司が連帯責任を負う体制だった …… 2点以内
- b <租税納入・徴収に関して>国司の四等官が責任を負う体制だった …… 1点以内

◎9世紀における地方統治の体制の変化

- c <租税納入・徴収に関して>受領が権限・責任を負うようになった …… 3点以内

◎10世紀における地方統治の体制の変化

- d 土地を基礎に徴税するようになった …… 2点以内
- e 負名から徴税するようになった …… 2点以内
- f 郡司の地位は低下した …… 2点以内

第2問 中世の戦乱と年号

◆加要素の合計点25点→15点満点◆

A

◆加要素の合計点8点→5点満点◆

◎源頼朝が治承の年号を使用し続けたこと

- a 平氏が擁立した天皇の年号は使用しないことのあらわれだった ……2点以内
b 〈京都の政権に対する〉不服従を示したものだ ……2点以内

◎源頼朝による寿永の年号の使用

- c 平氏の都落ちがあったことから始めた ……2点以内
d 後白河法皇の接近があったことから始めた ……2点以内

B

◆加要素の合計点17点→10点満点◆

◎14世紀の2つの年号

- a 南北朝の動乱のなかで存在した ……2点以内

◎正平の一統

- b 観応の擾乱を背景とした ……2点以内
c 足利尊氏・(足利)直義両派の対立を背景とした ……2点以内
d 持明院統の天皇が廃された ……2点以内
e 南朝の年号のみとされた ……2点以内

◎武家社会

- f 〈相統形態が〉分割相統から単独相統に変化した ……3点以内
g 武士団の分裂・対立がおこった ……2点以内

◎正平の一統と「武家社会の変化」

- h 南北朝の動乱を長期化させた ……2点以内

第3問 桐生における絹織物生産の推移

◆加点要素の合計点25点→15点満点◆

- ◎18世紀前半
 - a 長崎貿易が制限された …… 3点以内
 - b 和糸の需要が高まった …… 3点以内
- ◎18世紀前半の桐生の絹織物生産
 - c 原料の確保に有利だった …… 3点以内
 - d 西陣の機が伝わった …… 2点以内
 - e 高機が伝わった …… 2点以内
 - f くいざり機とは異なる機が伝わって生産が活発化した …… 2点以内
- ◎19世紀前半の桐生の絹織物生産
 - g マニュファクチュアによる生産が行われた …… 3点以内
- ◎19世紀半ば
 - h 安政の五カ国条約が結ばれた …… 2点以内
 - i 諸外国との貿易が始まって生糸が輸出品となった …… 2点以内
- ◎19世紀半ばの桐生の絹織物生産
 - j 原料が不足した …… 2点以内
 - k 原料面の問題から生産が停滞した …… 1点以内

第4問 国際会議と対外政策、統帥権と文民統制

◆加点要素の合計点23点→15点満点◆

A

◆加点要素の合計点13点→8点満点◆

- ◎(1)で示されている外交方針
 - a 協調外交 …… 2点以内
※「協調的な外交」は「協調外交」の代替とは認めない
 - b ワシントン体制下で示された …… 1点以内
 - c 幣原喜重郎によるものだった …… 1点以内
- ◎田中義一内閣
 - d 不戦条約を結んだ …… 2点以内
 - e 欧米諸国との条約を結んだように(国際)協調の姿勢をとった …… 1点以内
 - f 北伐に対して派兵した …… 1点以内
 - g 山東出兵を行った …… 2点以内
 - h 派兵して中国に軍事的干渉を行った …… 1点以内
 - i 積極外交を展開した …… 2点以内
※「積極的な外交」は「積極外交」の代替とは認めない

B

◆加点要素の合計点10点→7点満点◆

- ◎1930年の国際会議における条約の締結
 - a ロンドン海軍軍縮条約を結んだ …… 2点以内
 - b 浜口雄幸内閣による …… 1点以内
 - c 編制大権に関することとして結んだ …… 1点以内
 - d 内閣の輔弼事項として結んだ …… 1点以内
 - e 海軍軍令部は内閣から独立している統帥権を犯すものにとらえた …… 3点以内
- ◎戦後
 - f 〈再軍備に際して〉文民統制〔シビリアン=コントロール〕が原則とされた …… 2点以内